

## 第54回 小山田記念賞

小山田記念賞は、公益財団法人軽金属奨学会 元理事長 故小山田裕吉氏の功績を記念し、公益財団法人軽金属奨学会より本会に寄贈されたもので、軽金属の生産および製品の製作に関係したわが国の優れた技術を対象とし、その技術を確立した発明、考案あるいは研究の功績者に贈る。

### 「吸音仕上げ材アルミッシモの開発」



崎本 佑 君  
(日本軽金属株式会社  
グループ技術センター)



小池 夏樹 君  
(理研軽金属工業株式会社  
リッカルビジネスユニット)

商業施設や公共施設などの屋内建築空間の設計において、快適な空間を得るために施設の用途や大きさに応じて音を適切に減衰させる要望が増えている。従来、グラスウールやウレタンフォームなどの多孔質型吸音材が多く使われてきたが、意匠性が低いためデザイナーの要望に十分に答えられないことや、安全性や環境の観点から多孔質材を避ける傾向も出てきており、意匠性に優れた多孔質型でない吸音材が望まれてきた。

開発した吸音仕上げ材アルミッシモは、アルミニウム押出形材を用いた共鳴器型の吸音構造であり、押出形材で形成される共鳴器の形状を変化させることで任意の周波数帯で吸音を制御できることに加え、押出形材の表面に木目調などの意匠性を付与することが可能であり、用途に応じた適切な音環境をデザイナーの求める意匠で提供できる商品である。また、アルミニウムの不燃性を生かし、公共空間での使用で求められる不燃材料認定も取得しており、さまざまな施設で採用されている。

本開発は音環境の制御と意匠の両立という新たな切り口でアルミニウムの適用拡大に資するものであり、小山田記念賞を与えるにふさわしい開発であると判断する。